

# 第 100 回緩和ケアカンファレンス

謹啓

向暑の候ますますご精励のことと存じます。

平成14年1月22日に第1回として始めました「在宅ホスピスケアネット福島」の緩和ケアカンファレンスですが、コロナ禍の約4年の休会を経て、この度記念すべき第100回目を開催します。

この会の設立目的は「在宅ホスピス医」を増やし、在宅ホスピスケア提供の為にネットワークを作ることにより、がんで苦しむ患者さんやその家族の為に「安心して死ねる地域づくり」を目指すことです。

活動内容としては①緩和ケアサービス提供の為に知識と技術を習得すること②在宅ホスピスケア、緩和ケア提供の為にネットワークを推進すること③在宅ホスピス・緩和ケアに関する情報提供の窓口になることです。つきましては下記要領にて開催致しますので、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

代表世話人 福島在宅緩和ケアクリニック 鈴木雅夫

記

日 時：令和6年7月9日（火）午後7時より

場 所： 福島市保健福祉センター 5階 大会議室

演題「選ばれてあることの恍惚と不安の二つ我にあり」

演者：坪井病院 看護部顧問 清水千世 氏

コロナなどの流行を鑑みて、マスク着用での参加をお願いします

（世話人会は18時45分から在タッチ事務所で行います）

なを、この勉強会は日本医師会生涯教育講座1単位を取得できます

共催 福島市医師会医療福祉介護委員会